

令和4年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概	名称	公益財団法人宮崎県立芸術劇場		所在地	宮崎市船塚3丁目210番地	
	電話番号	0985-28-3216		ホームページ	http://www.miyazaki-ac.jp	
	設立年月日	平成5年4月1日	代表者	理事長 佐藤 寿美	県所管部・課	総合政策部 みやざき文化振興課
	総出資額	225,797 千円		県出資額	225,797 千円	県出資比率
要	設立目的	県立芸術劇場を拠点として芸術文化等多様な文化活動を総合的に促進し、文化の香り高い地域づくりと、心豊かな県民生活の創造に寄与することを目的とする。				
	特記事項	県立芸術劇場の指定管理者として指定を受けている。 (指定期間：平成18～22年度、23～27年度、28～令和2年度、3～7年度)				

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度
改革工程	① 公社等のあり方見直し	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率 91%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率 92.1%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等)
	② 公社等の経営見直し	(計画) 文化事業基金を活用した自主事業等の実施 (実績) 指定管理業務評価や利用者満足度調査等の結果を踏まえて策定した事業計画について、外部委員による「文化事業協議会」において審議していただいた上で、27件の事業を行った。	(計画) 文化事業基金の有効活用や新たな収入確保策を検討し、文化事業等のさらなる充実 (実績) 指定管理業務評価や利用者満足度調査等の結果を踏まえて策定した事業計画について、外部委員による「文化事業協議会」において審議した上で、23事業を実施した。	(計画) 文化事業基金の有効活用や新たな収入確保策を検討し、文化事業等のさらなる充実
	財務改善	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上 (実績) 宮崎国際音楽祭協賛金 6,000千円 貸館稼働率 44.2%	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上 (実績) 宮崎国際音楽祭協賛金 27,779千円 貸館稼働率 62.1%	(計画) 自主財源の拡充、貸館稼働率の向上
	組織等適正化	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。 (実績) コロナウィルス感染症拡大を防ぐため、県外への研修は見送り、職場内で接遇研修や防災訓練を行った。	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。 (実績) 職場内研修のほか、県外の研修も一部を除いて参加した。また、県公立文化施設協議会主催の外部講師によるインボイスの研修に参加した。	(計画) 職員の企画力の向上とともにサービス改善策提案を実施。
③ 県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	(目標) 県派遣職員の必要性の検討 (実績) 県派遣職員が1名となっている。	(目標) 県派遣職員の必要性の検討 (実績) 県派遣職員が1名となっている。	(目標) 県派遣職員の必要性の検討
	財政支出見直し	(計画) 自主財源拡充等により財務基盤強化を図る。 (実績) 文化庁や地域創造の助成事業のほか、企業からの協賛金支援など多様な財源の確保を図った。 (助成総額 27,880千円)	(計画) 自主財源拡充等により財務基盤強化を図る。 (実績) 文化庁や地域創造の助成事業のほか、企業からの協賛金支援など多様な財源の確保を図った。 (助成総額 65,846千円)	(計画) 自主財源拡充等により財務基盤強化を図る。
④ 情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(計画) ホームページでの情報公開の充実 (実績) ホームページのほかフェイスブック、メールマガジンを活用し、公演情報等を積極的に発信した。	(計画) ホームページでの情報公開の充実 (実績) ホームページのほかフェイスブック、メールマガジンを活用し、公演情報等を積極的に発信した。	(計画) ホームページでの情報公開の充実

	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	9	0	2	7	9	0	2	7
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	8	0	1	7	8	0	1	7
	職員数	27	1	2	24	28	1	1	26
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	500,626	510,317	532,737	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	5,495	5,365	5,362	
その他の県からの支援等									
主な県財政支出の内容	事業名		事業内容			令和3年度 決算額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	種別	
	①	県立芸術劇場管理運営事業	県立芸術劇場の維持管理			340,259	340,259	指定管理料	
	②	宮崎国際音楽祭開催・準備事業	宮崎国際音楽祭の開催業務及び次年度の開催準備業務			94,308	94,308	指定管理料	
	③	県立芸術劇場大規模改修事業	県立芸術劇場施設設備の修繕業務			46,003	29,688	委託料	
	④	県民文化振興事業	県民文化振興に係る県立芸術劇場主催事業等の実施業務			44,167	44,167	指定管理料	
	⑤	国民文化祭開催事業	国文祭・芸文祭みやざき2020に係る事業等の実施業務			8,000	0	委託料	

実施事業	① 県立芸術劇場管理運営事業(大規模改修事業を含む)						
	② 宮崎国際音楽祭開催・準備事業						
活動指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 劇場稼働率	稼働日数/利用可能日数×100(%)	77.0	62.1	80.6%	77.0	77.0
② 主催公演の入場者率	入場者数/キャパシティ×100(%)	70.0	67.9	97.0%	70.0	70.0	
③ 友の会会員数	人数(人)	1,500	1,261	84.1%	1,500	1,500	
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収益	731,874	614,873	721,189	資産	578,158	591,151
経常費用	745,715	580,208	736,289	流動資産	329,227	344,299
当期経常増減額	-13,841	34,665	-15,100	固定資産	248,931	246,853
経常外収益	16,550	0	0	負債	128,451	106,730
経常外費用	0	0	350	流動負債	120,121	100,528
当期経常外増減額	16,550	0	-350	固定負債	8,330	6,202
当期一般正味財産増減額	2,709	34,665	-15,450	正味財産	449,706	484,421
一般正味財産期首残高	207,415	210,123	244,788	指定正味財産	239,583	239,633
一般正味財産期末残高	210,123	244,788	229,338	(うち基本財産への充当額)	30,000	30,000
当期指定正味財産増減額	-16,550	50	0	(うち特定資産への充当額)	209,583	209,633
指定正味財産期首残高	256,133	239,583	239,633	一般正味財産	210,123	244,788
指定正味財産期末残高	239,583	239,633	239,633	(うち基本財産への充当額)	0	0
正味財産期末残高	449,706	484,421	468,971	(うち特定資産への充当額)	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式 (単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
		目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値
① 管理費比率	管理費 / 経常費用 × 100 (%)	51.0	57.5	87.3%	51.0	51.0
※ 令和3年度 実績値の算式	423,242千円 / 736,289千円 × 100					
② 入場料収入比率	入場料収入 / 総事業費 × 100 (%)	36.0	22.8	63.3%	36.0	36.0
※ 令和3年度 実績値の算式	25,102千円 / 110,321千円 × 100					
③						
※ 令和3年度 実績値の算式						

指標の設定に関する留意事項

直近の県監査の状況	令和3年10月12日事務局監査、令和3年10月26日委員監査 指摘事項なし
-----------	---------------------------------------

総合評価	公社等自己評価	改革工程				評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程			
		活動内容	財務内容	組織運営	活動内容		財務内容	組織運営		
目標達成度	<p>第四期指定管理機関の目標の一つとして掲げている「より親しみやすく」「裾野を広げる」を重点課題として取り組んだ。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で4件の自主事業等が中止になるなど、稼働率目標等を達成することができなかった。また、入場者率は収容率を70%に制限せざるを得ない状況の中での結果である。</p> <p>財務指標については、令和2年度と比較するといずれの指標も目標値に近づいたが、達成することができなかった。</p> <p>引き続き、公共性の確保と県民が親しみをもてる劇場作りを目指すとともに、各関係機関等と連携し、質の高い舞台芸術等を企画・実施していきたい。</p> <p>なお、組織運営については、プロパー職員を中心に、長期的な法人運営を見据えた人材育成に取り組むなど、組織体制の充実強化を図っている。</p>	0%	50%	100%	150%	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の中止等があったものの、徹底した感染防止対策のもと、令和2年度と比較すると多くの事業を実施することができた。</p> <p>活動内容については、いずれの項目も目標値には届かなかったものの、令和2年度と比較すると全体的に目標値に近づいており、コロナ禍にあっても文化芸術に親しみたいという県民のニーズに対応して、舞台芸術等を提供することができたものと認められる。</p> <p>財務内容については、令和2年度と比較すると中止になった事業が少なく、入場者数も増加したことにより、いずれの指標も目標値に近づいたものの、達成はできていない。コロナ禍を考慮するとやむを得ない面はあるが、収支バランスを保ちながら公益性の高い事業を実施していく必要がある。</p> <p>組織運営については、理事会や監査等の機能が適性に発揮されるとともに、職員の能力開発も計画的に行われている。</p>	0%	50%	100%	150%
			<p>活動内容については、新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限を余儀なくされる中で、感染防止策を徹底し、劇場稼働率や入場者率は目標は達成できていないものの、前年より稼働率及び実入場者数は増加しており評価できる。</p> <p>財務内容については、新型コロナウイルス感染症の影響等により前年度落ち込んだいずれの指標についても改善したことは一定の評価ができるが、安定した文化活動を継続して実施するため財務状況の改善に努める必要がある。</p> <p>県立芸術劇場の指定管理者としての管理業務を適切に実施するとともに、採算性の確保を図り、また、新型コロナウイルス感染症の感染予防等に対応しながら県民のニーズ等を的確に捉えて、さらに充実した芸術文化を提供することが求められる。</p>							